

2016年12月19日

株式会社アイキャスト 第22回番組審議委員会 議事録

■日時： 2016年12月15日（木）14:00～15:00

■場所： サンシャイン60

■出席者： 番組審議委員

中島	洋	様	(委員長)
金子	淳平	様	(副委員長)
石田	紗英子	様	
木津	直昭	様	
次原	悦子	様	
夏目	幸明	様	
廣瀬	禎彦	様	
細貝	淳一	様	

アイキャスト	板東	浩二	(代表取締役社長)
	沼尻	孝	(取締役副社長)
	永田	勝美	(取締役)
	寺嶋	貴樹	(取締役サービス本部長)
	赤穂谷	匡広	(取締役経営企画本部長)
	安西	浩樹	(サービス本部 編成部部長)
	塚原	直子	(経営企画本部 事業戦略部長)
	鈴木	賢司	( 同 事業戦略部／書記)

■議事内容

1. 「ひかりTV」サービス概況の報告

2. 番組審議

(1) 『にっぽん4K巡り 広島編 ～篠原ともえのワタシ的たび～』について

- ① 映像が美しく、旅に出たいという気持ちにさせる。旅と4Kの組み合わせという、まさに4Kならではの企画で素晴らしい。
- ② 一般的には、10代の頃の元気なキャラクターの篠原ともえさんのイメージが浸透していると思われるが、この番組では異なる一面が見られた。知名度が高い方が新たな一面を見せてくれるというのは大変興味深い。
- ③ にっぽん4K巡りシリーズは複数の番組を見ているが、局によってクオリティに

ばらつきを感じる。ひかりTVとの共同制作というのであれば、番組の質の統一に期待する。

- ④ 露出がいきなり変わるなど、カメラワークに気になる点があった。また、撮影スタッフや機材の影がウ映りこんでしまった点などは、映像が美しいだけに残念であった。
- ⑤ ザッピングしながら視聴している人にも、その時点でどの地域や店について放送されているのかが伝わるよう、天命や電話番号等が文字で紹介されるとより便利に見られると感じた。
- ⑥ 宮島への行き方が紹介されていると、紀行番組としてよりよかった。
- ⑦ 「S-cene ～Season2～」とも共通するが、文字スーパーが白と黒に統一されていることで、映像が生きていた。この番組は、さらに手書きのスーパーだったのもやさしい印象を与えており、よかった。

(2) 『S-cene ～Season2～ #1』について

- ① 採石場跡のような地下の空間に女性アイドルがいるというミスマッチが、不思議な印象を与えて面白かった。また、映像も美しく、下からあおるように撮るなどのカメラワークが凝っていて、あまり見たことがなく興奮した
- ② 番組のターゲットが不明確で、また、映像とナレーションもミスマッチ感があった。
- ③ 知的好奇心をそそられ、紹介された場所に行ってみたいと思った。その際、近隣の宿泊施設や温泉等の情報が紹介されていると、実際にその場所を訪ねるときのイメージがより湧きやすいのではないか。
- ④ 知的好奇心をそそられ、紹介された場所に行ってみたいと思った。その際、近隣の宿泊施設や温泉等の情報が紹介されていると、実際にその場所を訪ねるときのイメージがより湧きやすいのではないか。
- ⑤ 番組で訪れた場所の歴史に詳しい人が解説をしてくれると、番組として重厚感が出ると思う。また、その場所の地元の方に興味を持ってもらえるような工夫など、見る人、視聴者層をぐっと絞った番組作りができるより面白いのではないか。
- ⑥ ビデオピンナップという発想のコンテンツになっているところが非常に面白い。景色、有名な場所に限りがあるが、アイドルは新たに登場してくるので、ビデオピンナップというひとつのジャンルを作れるのではないか。
- ⑦ 全体のつながりが今ひとつよく分からなかった。最初からこういう構成の番組だと分かっていると、途中で飽きてしまうのではないか。

以上